

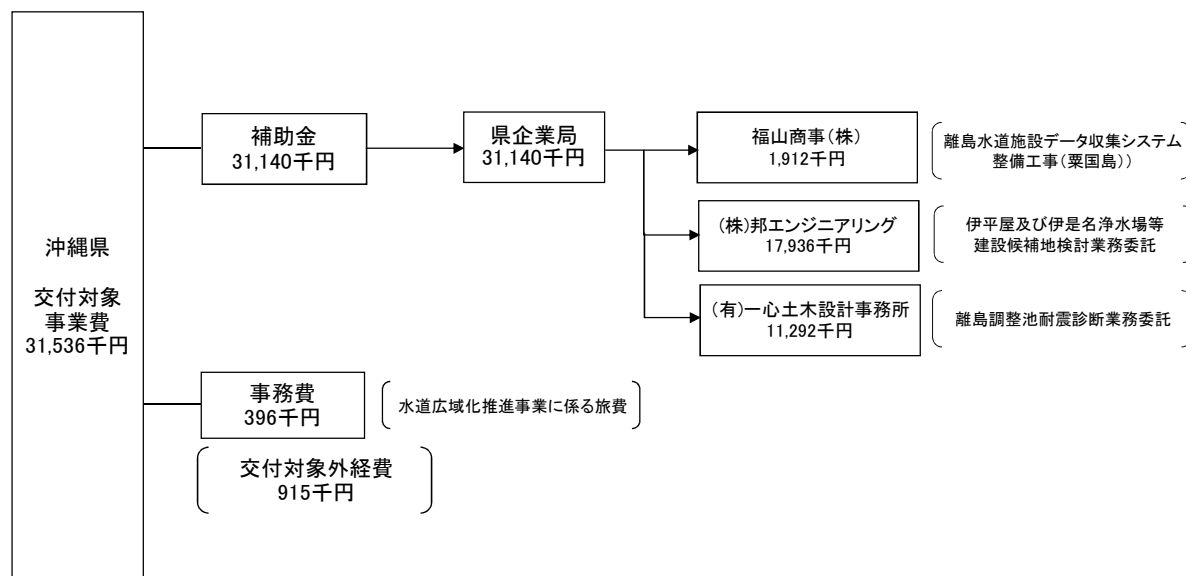
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	69	水道広域化推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア 第3章-3-(11)-イ			
担当部課名	保健医療部衛生業務課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	水道広域化により、本島と離島の水道サービスの格差を是正し、定住条件の整備を図るため、水道広域化の早期実現に向けて、水道用水供給拡大を実施する県企業局へ水道広域化に係る必要な施設整備等に対し、補助を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(平成30年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	195,382	—	14,658	—	39,278
		(b) 予算現額	195,382	—	14,658	—	33,577
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0	—	▲ 5,701
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	195,382	—	14,658	—	33,577
	B. 執行済額		123,918	—	14,138	—	32,451
	うち交付金充当額		99,135	—	10,892	—	25,229
	C. 次年度繰越額		0	—	0	—	0
	執行率(%) (B/A)		63.4%	—	96.5%	—	96.6%
予算の状況の説明		・補助金の減額(入札残)及び旅費の執行残のため、不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
	水道広域化に係る必要な施設整備等を実施する。	目標	シンポジウム及び調査を実施する	浄水プロセスの検討、更新及び離島水道施設整備計画等について検討する	多良間村における実証事業の実施	水道広域化に係る必要な施設整備等を実施する。	
		実績	シンポジウム及び調査を実施した	浄水プロセスの検討、更新及び離島水道施設整備計画等について検討した	多良間村において実証事業を実施した	水道広域化に係る必要な施設整備等を実施した。	
	達成状況説明	・水道広域化(本島周辺離島8村への水道用水供給拡大)を実施する県企業局に、必要な施設整備等に対し補助を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(25年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	2村(粟国村、渡名喜村)において、水道広域化を実施する。	目標	—	離島水道施設整備基本計画の策定	多良間村の水道施設において、最適な運転管理、処理方法を検討し、確立する。	2村(粟国村、渡名喜村)において、水道広域化を実施する。	—
		実績	—	離島水道施設整備基本計画の策定	多良間村の水道施設において、最適な運転管理、処理方法を確立した。	1村(粟国村)において、水道広域化を実施した。	—
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P312 水道広域化実施市町村数	目標	—	1村 (県全体:23市町村)	1村 (県全体:23市町村)	2村 (県全体:24市町村)	—
		実績	1村 (県全体:23市町村)	1村 (県全体:23市町村)	1村 (県全体:23市町村)	1村 (県全体:24市町村)	—
	【H30成果目標】 ・水道広域化後の粟国村における一般用・10㎡当たりの水道料金	目標	—	—	—	—	3,340円以下
	【H31成果目標】 ・水道広域化後の渡名喜村における一般用・10㎡当たりの水道料金	目標	—	—	—	—	2,690円以下
進捗状況説明	・成果目標である水道広域化実施市町村数については、目標2村に対し実績が1村となり、未達成となっている。未達成の理由として、水道広域化に伴い、渡名喜村の水道施設の一部を県企業局へ移管することとしていたが、該当施設の土地所有権について整理されていない部分があったためである。 ・粟国村において水道広域化の実施により水道料金改定を行い、平成30年4月からの新料金体系により約52%の低減(一般用・10㎡使用時)となっている。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 本島周辺離島8村の各島における既存の水道施設において、経年劣化による更新、耐震化、水処理能力が限界に近いことから、依然として今後の水質確保の継続性等の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 水道広域化(本島周辺離島8村への水道用水供給拡大)について、各島における既存の水道施設の課題を解決し、安全で安定的な水道用水供給システムを整備する。
	<ul style="list-style-type: none"> 水道広域化(事業統合)については、地域全体で様々なメリットがあるものの、事業間の施設整備水準や財政状況の格差がある場合は、広域化による損得が発生し、事業統合までに至らない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 水道広域化(事業統合)について、事業体間の格差是正のための取組を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 小規模離島においては、技術者の確保が困難なことなどから技術基盤が脆弱である。 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模離島において、水道施設の効率的な運転管理、浄水処理技術の向上など、技術基盤の向上を図る。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 水道広域化(本島周辺離島8村への水道用水供給拡大)を実施する県企業局へ、引き続き、広域化に必要な施設整備等に係る支援を行う。 水道広域化(事業統合)に向け、課題のある水道施設において、最適な運転管理、処理方法を検討し、確立するための実証事業を行う。 小規模離島事業体等の要望に応じて、県企業局の協力のもと、水道技術支援を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
32,451	31,536	25,229	3,192	0	3,115	915



資金の 用途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付対象外経費として、水道技術支援(技術基盤が脆弱な市町村に対し、県企業局の協力を得て技術支援を行う)を実施したが、県は当支援の総合調整等を行う役割から費用(旅費)を負担した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものであるか、完了検査、額の確定時において、支出等に関する証憑類を確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	